

# ステンレスの水垢と酸焼けについて

## 1. 水垢の特徴

- ・水垢は水道水に含まれるミネラルとカルシウム
- ・比較的落ちやすい
- ・洗い物用洗剤と混ぜるとより頑固になる
- ・クエン酸とメラミンスポンジを使って落とす

水垢の見た目は、シンクにうっすらと付いている水をこぼしたような模様の汚れです。原因は、水道水に必ず入っているミネラルとカルシウムが徐々に固まってできた物です。水垢は酸焼けに比べるとはるかに落ちやすいです。しかし掃除道具などを使わずに、水だけで落とすことはできません。クエン酸とメラミンスポンジを使うことによって落とすことができます。

## 2. 水垢の掃除方法

- 1) クエン酸(小さじ1)と水(200ml)を混ぜ合わせてクエン酸水を作る
- 2) 水垢の場所にキッチンペーパーを乗せた上からクエン酸水をかけ、30分～1時間程置く
- 3) キッチンペーパーを取ってからタオルなどでこすり、汚れを落とす
- 4) 残った汚れはメラミンスポンジで優しくこすって落とす

キッチンペーパーを使うことで汚れを浮かすことができるため、力を入れずとも水垢を落とすことができます。メラミンスポンジは汚れを削って磨くためきれいになりやすいのですが、シンクを傷つけてしまうこともあるので力を入れすぎずに優しく磨きます。

## 3. 酸焼けの特徴

- ・酸性の洗剤が原因でできる
- ・クエン酸でこすっても落ちない
- ・水垢が落ちても薄く白い膜のように残っている
- ・セスキ炭酸ソーダ、もしくは削って磨くことで落とす

酸焼けは、水垢と見た目は似ていますが、原因や、掃除方法は異なります。

酸焼けは水垢のようにクエン酸でこすっても落ちません。

いくらこすっても白く薄い膜のように残るのが酸焼けです。

水垢を掃除していて全然落ちない場合は酸焼けの可能性がります。

酸焼けができる原因は酸性の洗剤です。シンクが酸性の物と化学反応を起こし、変色してしまうことが酸焼けです。

食器用洗剤には弱酸性、中性、弱アルカリ性の3種類がありますが、弱酸性の洗剤を長期間使うことによっても酸焼けが起きる可能性があります。

または、なかなかシンクの汚れが落ちないからと、強い酸性の掃除用洗剤をシンクにかけることで酸焼けを起こしてしまうこともあります。

#### 4. 酸焼けの掃除方法

- 1) 水(250ml)にセスキ炭酸ソーダ(小さじ1/2)を入れて混ぜ合わせる
- 2) 酸焼けの場所にスプレーして15分程置き、普通のスポンジでこする
- 3) 落ちない汚れは人工ダイヤモンド入りのスポンジで優しくこする
- 4) タオルなどで汚れを拭きながら、きれいになるまで3～4を繰り返す

この掃除方法でも、頑固な酸焼けだと落ちないことがあります。シンクのこすりすぎは表面を傷つけてしまうこともあるので、もし人工ダイヤモンド入りのスポンジでも落ちない場合は、ハウスクリーニング業者に掃除をお願いすることも検討して下さい。

#### 5. 洗剤を使う場合の注意点

シンクが乾くと白くなる汚れは市販の洗剤でも落とすことができますが、酸性の洗剤は逆に酸焼けを起こしてしまう可能性があるため注意が必要です。

確かに、水垢を落とすにはクエン酸よりも酸性の洗剤の方がより強力ですが、酸性の洗剤がステンレスと化学反応を起こすと、白く変色してしまうことがあり、一度酸焼けを起こしてしまうと、取るのに苦労します。

洗剤を使う場合は、その洗剤が酸性かどうかということを確認し、なるべく最初はクエン酸や酢を使います。

もしクエン酸で汚れが取りきれなかった場合はクレンザーとスポンジを使って磨いてみます。また、酸性の洗剤でもシンク用の物であれば気にせず使うことができるので市販の洗剤を選ぶときは、シンク用の物を選ぶようにします。

##### <洗剤の特徴>

洗剤	効果	洗剤の特徴
ティンクル	◎	酸性のシンク専用洗剤。水垢がきれいに取れ酸焼けしない
ホームイング	○	シンク用のクレンザー。研磨剤のためクエン酸などで掃除をしたあとに使うと効果的
キッチン泡ハイター	△	一旦汚れがきれいになったように見えるが、使い続けると水垢が増える原因になることもある
トイレ用酸性洗剤	×	使うと酸焼けが起き、跡になって残る場合が多い
クエン酸を濃く溶く	△	濃さによっては酸焼けになって残ってしまうこともある

#### 6. 予防方法

##### シンクの汚れを予防する方法

- 1) こまめに水滴を拭きとる

シンクの水垢の原因は、水道水に含まれるミネラルとカルシウムです。

従って、こまめにシンクについた水滴を拭きとることで水垢ができるのを防ぐことができます。さらに水滴を拭きとることによって、水垢だけでなくカビも予防することができます。

## 2) 物を置かないようにする

2つ目の予防法は、シンク内に余計な物を置かないようにするという事です。

シンク内には三角コーナーやスポンジなど、さまざまな物が置いてあることが多いと思います。シンク内に置いてある物をなるべく減らすことで、汚れを減らして水垢を発生しにくくします。

## 3) クエン酸を使った定期的な掃除

定期的にくエン酸で掃除をすることで、頑固な水垢ができてしまうのを予防することができます。こまめに掃除をすると、汚れが溜まることがないので1回の掃除の負担は少なくて済みます。

## 7. まとめ

- ・シンクが乾くと白くなる原因は主に水垢と酸焼けの2種類がある
- ・水垢の原因は水道水に含まれるミネラルとカルシウムで、酸焼けの原因は酸性の洗剤
- ・水垢はクエン酸を使って落とすことができる
- ・酸焼けはセスキ炭酸ソーダや人工ダイヤモンド入りのスポンジで落とすことができる
- ・シンクが乾くと白くなる汚れは市販の洗剤でも落とすことができる
- ・酸性の洗剤を使った掃除は、逆に酸焼けを起こしてしまう可能性があるので注意
- ・シンクが乾くと白くなるのは、こまめに水滴を拭きとり、定期的にくエン酸で掃除をすることで予防できる
- ・シンク内に物を置かないようにすると白い汚れができにくい
- ・毎日の拭き掃除を習慣にすることでシンク内を清潔に保つことができる

以 上